



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2023年5月21日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部



「ステマ」規制へ どんな行為ダメに？

21日(日)＝5面

広告であることを隠して一般の口コミを装い、商品などを宣伝する「ステルスマーケティング（ステマ）」が問題になっています。

特に、企業などの広告主が、ネット交流サービス（SNS）などで発信力のあるインフルエンサーに依頼するケースが増えており、消

費者庁は10月から、景品表示法に基づく規制を始めます。どんな行為が対象になるのか、分かりやすく解説します。

論点

新人さんへ 贈る言葉

24日(水)＝オピニオン面

新型コロナウイルスの感染拡大で、この3年間、環境は大きく変わりました。期待と不安の間で揺れながら4月から新しい一歩を踏み出した「新人さん」への贈る言葉です。指揮者で東京音楽大の広

上淳一教授、東京工業大の中島岳志教授、株式会社気仙沼ニッティング代表取締役の御手洗瑞子さんの3人が、挫折や回り道を繰り返してきた自らの歩みを振り返りながら、語ってくれました。



広島市の原爆ドーム

特集ワイド

悪役俳優・八名信夫さんが願う「平和」

22日(月)＝夕刊特集ワイド



主要7カ国首脳会議（G7サミット）が広島市で開かれ、非核や平和に注目が集まっています。

任侠ものから時代劇まで映画やドラマで活躍してきた俳優の八名信夫さん＝写真＝は、

幼いころに故郷の岡山で空襲を経験し、広島市の原爆で軍医だったおじも亡くしました。

「戦争は人間の心まで消し去ってしまう魔の消しゴムだ」。その体験を基に、平和への強い思いを聞きました。



G7 広島サミット閉幕

22日(月) 1、2、3面

主要7カ国首脳会議（G7広島サミット）が21日、3日間の日程を終えて閉幕します。首脳宣言では、ウクライナ支援やロシアへの対応、経済安全保障や急速に普及する人工知能（AI）への対応など

を盛り込む予定で、成果が目されます。被爆地・広島でのサミットとして、核軍縮・不拡散に向けてどのようなメッセージを打ち出したのか詳細します。

竹橋の窓から

編集後記

宅配購読中なら「毎日新聞デジタル」が有料記事まで読み放題で追加料金なしというお得な「宅配購読者無料プラン」が6月から、さらに充実します。ニュースサイトで楽しめるコンテンツに、スポニチ、サンデー毎日、週刊エコノミストが仲間入り。



Amazonギフトカード1000円分がもらえるキャンペーンもスタートしました。この機会をお見逃しなく！（千代崎聖史）

